

令和5年10月

国際歴史論戦研究所 所長 山本優美子

お知らせ

「慰安婦問題をめぐる日韓合同シンポジウム」報告

ソウルを中心に日の丸が翻った日

9月5日に韓国ソウルで開催された「慰安婦問題をめぐる韓日合同シンポジウム」と翌日6日の慰安婦像傍の街頭集会は、日韓の真実勢力がソウルに結集して声を挙げる記念すべきイベントとなりました。国際歴史論戦研究所は3名を派遣し参加してまいりました。

シンポジウムが行われたコリア・プレスセンターでは、横断幕に日の丸が、開会時には君が代が斉唱されました。近年プレスセンターでは有り得なかったとのこと。

6日の街頭活動は、正義連（旧・挺対協）水曜デモよりもさらに慰安婦像の近くで、正義連より参加者が多く賑やかに行われました。2019年12月、最初に金柄憲氏、李宇衍氏らが、同じ場所で慰安婦像撤去の街頭活動を始めたときは小さな日の丸を持ってただけで、罵倒され妨害にあったそうです。この日は青空を背景に大きな韓国旗と日章旗が翻り、参加者は韓日の小旗を振って声を挙げました。

韓国は反日というイメージを覆すこの2日間の報告と今後の展開について、関連資料と共に10月26日の第15回国際歴史論戦研究所セミナーの前に短く時間をとってお話しさせていただきます。

皆様のご来場をお待ち申し上げます。

以上

<第15回 国際歴史論戦研究所セミナー>

演題：国と自然を守ると言うこと

講師：葛城奈海 防人と歩む会 会長

日時：令和5年10月26日（木） 17:30 開場、18:00 開始 20:00 頃終了

場所：文京区民センター 2A 会議室

参加費：2千円

詳細はこちら <https://i-rich.org/?p=1688>

オンライン参加 <https://irich.shop-pro.jp/?pid=177206023>